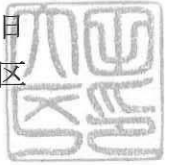


アクション・プランに基づく地方自治体とハローワークの一体的実施に向けた提案

平成25年7月1日

大田区



1. 提案の概要

大田区役所蒲田地域庁舎内に、生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者、これらの申請者及び相談者（以下「生活保護受給者等」という。）を対象とした、ハローワークの職業紹介機能を持つ就労支援窓口を設置し、福祉事務所のケースワーカー及び就労専門相談員と、ハローワークが連携し、生活保護受給者等に対する一体的な就労支援を実施する。

2. 提案理由

平成20年秋の金融危機を発端として、平成21年度に大幅に増加した大田区の生活保護世帯数（前年比12%増）は、平成24年度には増加率は緩やかになっている。しかし、保護率は都や全国の平均を上回っており、大田区内でも稼働能力を有する生活保護受給者が増加傾向にある中で、いわゆる「その他」世帯の受給者に対する就労支援のあり方が課題となっている。

この点、現在も、大田区はハローワークと連携した取組みを実施して一定の成果が出ているところであるが、これまで以上に両者が連携した支援を実現するため、今般、アクション・プランに基づく一体的実施の提案の提出に至った。

3. 提案内容

(1) 支援対象者

生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者、これらの申請者及び相談者とする。

(2) 設置場所

大田区役所蒲田地域庁舎内

(3) 実施内容

国が行う無料職業紹介等と区が行う生活保護に係る業務を一体的に実施する。

具体的には、国（ハローワーク）は、設置する窓口職員を配置し、区から誘導を受けた支援対象者に対して、職業相談・職業紹介を実施する。

区は、生活福祉課において生活保護に係る業務の実施に加えて、就労専門相談員を配置して、生活保護受給者等に対する意欲喚起等を行うことともに、職業相談・職業紹介の対象として適切な支援対象者を、国の窓口へ誘導する。